

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

事務事業評価シート				令和 2 年度事後評価・決算		所管課		健康づくり課		担当班		庶務企画班		
事務事業名	コード	18300	いいおかけんこうセンター管理費(活動費含む)	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒	主な事業			
					一般	4	1	1		☐	国土強靱化地域計画			
施策体系	基本施策	5	保健・医療の充実	根拠法令	旭市健康増進センターの設置及び管理に関する条例									
	施策の展開	11	健康づくりの推進	戦略事業	47	健康増進センター事業								
	施策の展開	12	病気予防対策の充実	戦略事業								☐	新市建設計画	
												☐	定住自立圏構想	
												☐	主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 15 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで		いいおかけんこうセンターで利用者は設備を利用して運動ができる。 面積：トレーニングルーム150㎡ 利用者：中学生以下及び医師からの指導等がある場合は使用できない。 開館時間：8時30分～17時15分（水・金は21時まで）休館日：月・祝日・年末年始 利用料金：市内1回200円・月2,000円、市外1回300円、月3,000円 内容：①有酸素運動（呼吸しながら楽に運動する。例エアロバイク） ②無酸素運動（各種マシンを利用した筋力アップ運動） ③健康運動教室（週3コース）		
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化		⑤事務事業に対する住民からの意見等
介護予防拠点整備事業費補助金を活用し、トレーニング機器を使用し高齢者の介護予防はもとより青壮年層を対象とした生活習慣病予防を目的として設置された。		・運動指導は、市直営ではなく委託して実施。 ・平成20年度からは全利用者から負担を徴収し、市外の利用者も可能とした。 ・平成26年10月より再度、利用者負担の見直しを行った。 ・利用者は60歳以上が多く、やや男性が多く推移している。		利用者から「利用者負担を見直してほしい（高齢者・障害者の負担軽減）」といった要望がある。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円
1.需用費	678	消耗品費、修繕料
2.役務費	48	通信運搬費、保険料
3.委託料	7,132	委託料
4.使用料及び賃借料	1,584	放送受信料、機械借上料、諸借上料
5.その他		
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他	401	利用料収入

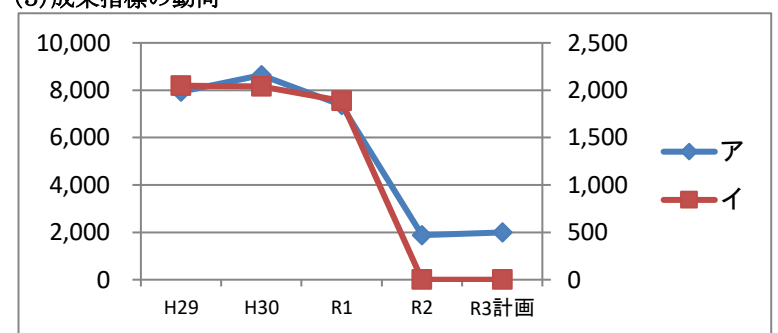
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 利用者説明会の実施 個人利用者への個別指導(プログラム作成等)		ア 開館日数	日	296	296	269	237	296
			イ						
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	対象 高校生以上で健康状態が適当な方(市外者含む)の 意図 うち健康増進センターの利用を希望する者 利用者の体力がつき健康になる		ア いいおかけんこうセンター利用者数 (延べ人数)	人	7,935	8,637	7,369	1,881	2,000
	対象 意図		イ いいおかけんこうセンター教室の参加 者数 (延べ人数)	人	2,048	2,041	1,888	0	0

(4)事務事業優先度評価の結果

		①成果優先度評価結果			②コスト削減優先度評価結果			
		成果向上余地			コスト比率			
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	
施策貢献度	大きい				①			
	普通		⑤		②			
	小さい				③			
評価結果	④⑤	(4)			④⑤			
	⑥				⑥			
	⑦⑧				⑦⑧			
	⑨				⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

⑦ 事務事業に関する評価																
評価内容	☐ 進捗状況		☐ 完了		☐ 順調		☐ 概ね順調		☐ 停滞		☒ 実施困難					
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)		教室の参加者数を成果指標としているが、コロナ禍で教室を実施していないため													
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較 成果 動向	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	
			成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画	
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		コロナ禍の施設内の密を避けるため、利用制限を行っているので。 教室の参加者数を成果指標としているが、コロナ禍で教室を実施していないため。								ア	△297	702	△1,268	△5,488	119
											イ	3	△7	△153	△1,888	0
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()					
通年		感染症対策を講じながら実施				コロナ終息後	コロナ終息後、運動教室再開									